



# ★星をみつめて

キリスト誕生を告げる星を見、若い王は礼拝の旅に出る。  
用意した贈り物をすべて、病や貧困に苦しむ人々に差し出し、苦難や不幸に翻弄される三十年が経った。

救い主を示す星を探し続けた無一物の王が、ついに出会えたのは、十字架に付けられた主イエス・キリスト。  
そこでささげることのできた、かけがえのないものとは?!

## 著 エツァルト・シャーパー

1908年、プロイセン(現ポーランド)オストロボ生まれ。

19歳で最初の小説を出版。

ドイツ、デンマーク、エストニア、フィンランドに移住。ナチス政権とソビエト連邦から死刑宣告を受け、逃亡先のスウェーデンにおいて、二重スパイ容疑で拘束される。

1947年以降スイスに定住。約70作の小説や多くの物語、考察、演説を遺した。1984年没。

**第二の『星の王子さま』と好評のロングセラーを翻訳**

「オールを漕ぐベンチは甲板の下にあって、  
そこは絶えず…… 真っ暗でした。  
しかしその闇のおかげで、星の光を見ることができたのです。」

＜ 一 旅立ち 二 出会い 三 手放す 四 ガレー船  
五 礼拝 訳者あとがき ＞

## 訳 阿部 祐子

獨協大学外国語学部卒業。  
東京都立川市在住。

定価1,320円(本体1,200円+税) 174×109mm 104頁 並製  
ISBN978-4-7896-0829-9 C0297 NDC940

書店・番線印

ご担当者

冊

星をみつめて

エツァルト・シャーパー 著

ISBN978-4-7896-0829-9 C0297

女子パウロ会 発行

本体1,200円+税

# キリスト者必読 生涯学習のための教会論

初期キリスト教会が自己理解を深めてユダヤ教から独立する経緯、礎となる使徒の役割や宣教方針の大転換から始まり、徐々に確立された聖書、教義、諸秘跡、職制、信仰生活、終末観、救済、他宗教との関わり等について、教会の本質と使命を中心にわかりやすく学べる。



## 著 百瀬 文晃

イエズス会司祭。神学博士。  
1940年生まれ。1970年フランクフルトで司祭叙階。帰国後は上智大学神学部で教義学を教える。2001年アテネオ・デ・マニラ大学ロヨラ神学部で客員教授。2007年よりカトリック広島教区で司牧に従事し、現在に至る。

著書に『キリスト者必読 生涯学習のためのキリスト論』『ここが知りたいキリスト教への25の質問』『キリスト教の輪郭』『キリストに出会う』『子どもたちと読む聖書』(女子パウロ会)、『キリストとその教会』(サンパウロ)他がある。

- 第一章 教会の始まり：イエスの遺志の実現/信仰による新しいイスラエル/他
- 第二章 使徒たちとパウロ：イエスの選んだ「使徒」の役割/パウロの召命/他
- 第三章 イエスの名による洗礼：「キリストの体」という共同体への組み入れ/他
- 第四章 一致の中心である主の晩餐：主の晩餐のもつ犠牲と食事の性格/「記念」の意味/他
- 第五章 赦しと和解の使命：キリストの死と復活がもたらした神との和解/ゆるしの秘跡/他
- 第六章 共通祭司職と役務：キリストの祭司職への参与/教会の職制の発展/叙階の秘跡/他
- 第七章 教導職とは何か：キリストが教会に与えた真理の保証/ローマ教皇の首位権/他
- 第八章 結婚と修道生活：創造の秩序における男性と女性/イエスの女性観/他
- 第九章 教会の四つの特性：教会の分裂と一致への道/日本のキリスト教の主な教派/他
- 第十章 教会外に救いはないのか：救いの普遍的な秘跡としての教会/他宗教への尊敬と理解/他
- 第十一章 世の終わりとは何か：歴史の終末と「教会の時」/「体の復活」が包含するもの/他
- 第十二章 聖母マリアと使徒の交わり：キリスト教信仰の結晶である聖母マリア/他

定価1,485円（本体1,350円＋税） 四六判 212頁 並製  
ISBN978-4-7896-0830-5 C0016 NDC198

書店・番線印

ご担当者

冊

キリスト者必読  
生涯学習のためのキリスト論

百瀬 文晃 著

女子パウロ会 発行

ISBN978-4-7896-0830-5 C0016

本体1,350円+税